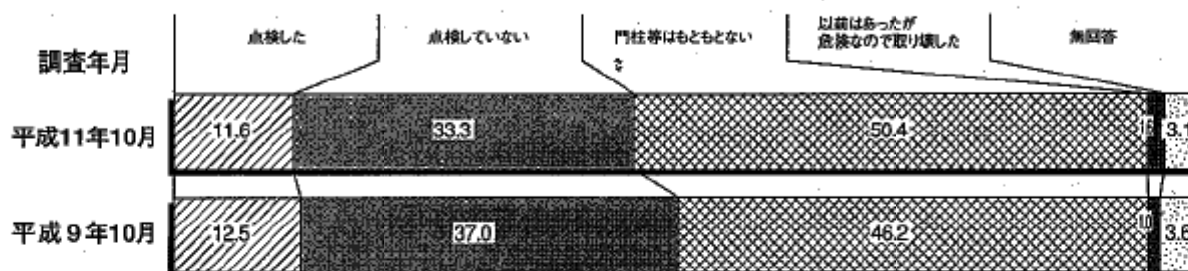


石塀・ブロック塀が転倒すると 通行人に被害を及ぼす可能性があります。 必ず点検してください。



石塀・ブロック塀はだいじょうぶですか



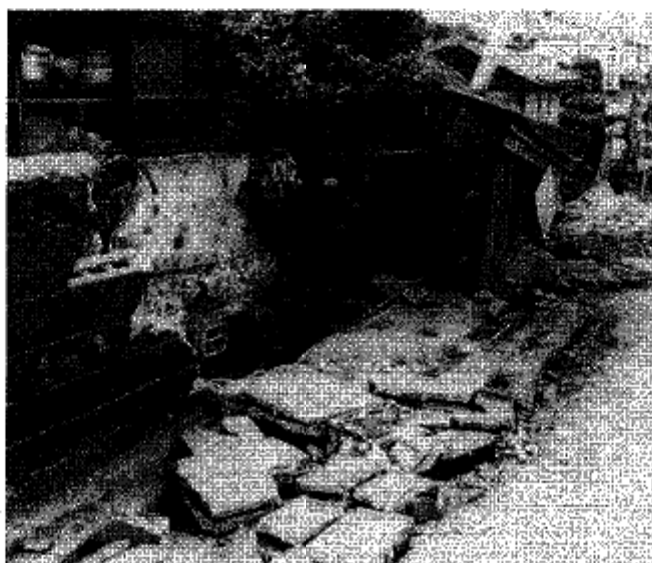
点検した家庭は1割強と増えていません。
 過去の地震では通行人の人がブロック塀の下敷きになったり、
 緊急車両が通行できなくなったり、
 他の人や災害救助に被害や影響を及ぼす可能性があります。
 下記を参考に点検や補強を考えてください。

県では、パンフレット「わが家の耐震診断と補強」を用意してあります。

ブロック塀から生け垣にするときに補助金を出す市町村もありますので、
 役所に確認してください。

次の5項目で、 点検してください。

- ①基礎の深さは十分か(30cm以上)
- ②塀は高すぎないか(2m以下)
- ③控壁はあるか(3.2m以下ごと)
- ④塀の傾き、ひび割れはないか
- ⑤塀に鉄筋は入っているか
 (直径9mmの鉄筋、80cmの間隔)
 検査器は、県土木事務所、市町村で

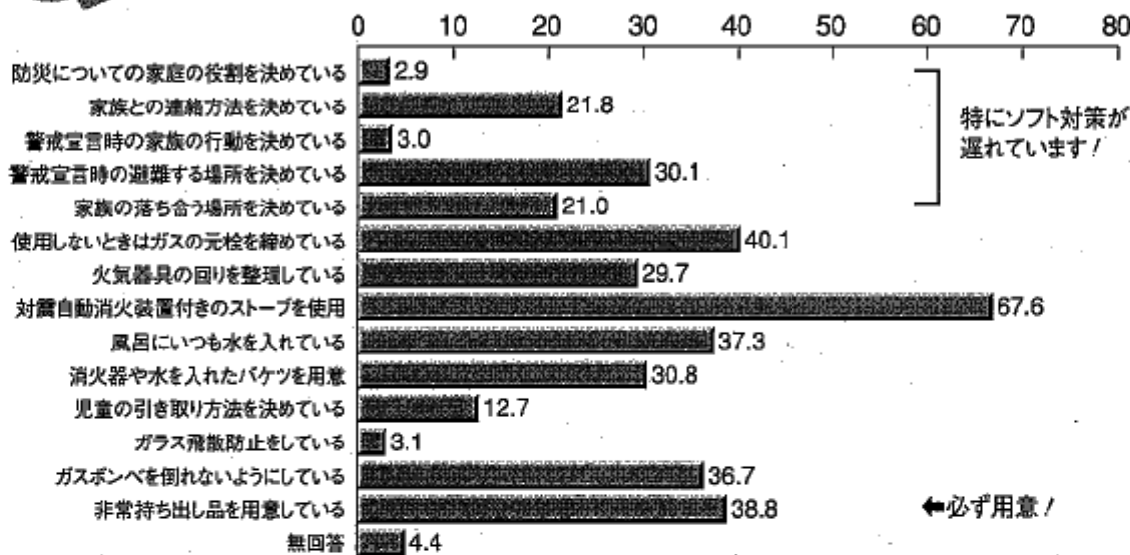


宮城県沖地震で壊れたブロック(昭和53年6月)

自宅から災害を発生させないために、 また地震発生時にとまどわないように 防災対策を実施してください。



東海地震に備えて お宅で行っているものは何ですか



発災時には、家族が別々の場所にいたり、社会の状況も混乱することが予想されます。次の表を参考に、ぜひお宅の行動計画を作ってください。

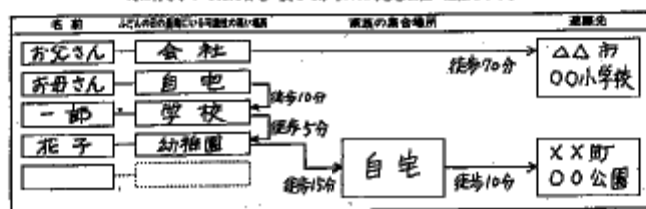
〈緊急行動表〉

わが家の行動計画

名前	ふだんの日の昼間にいる可能性の高い場所	家族の集合場所	避難先

★行動表の使い方(記入例)

警戒宣言が出たら：お父さんは会社から△△市〇〇小学校へ避難します。お母さんは自宅から一部と花子をおかえりして、いったん自宅へ戻ってから××町〇〇公園へ避難します。



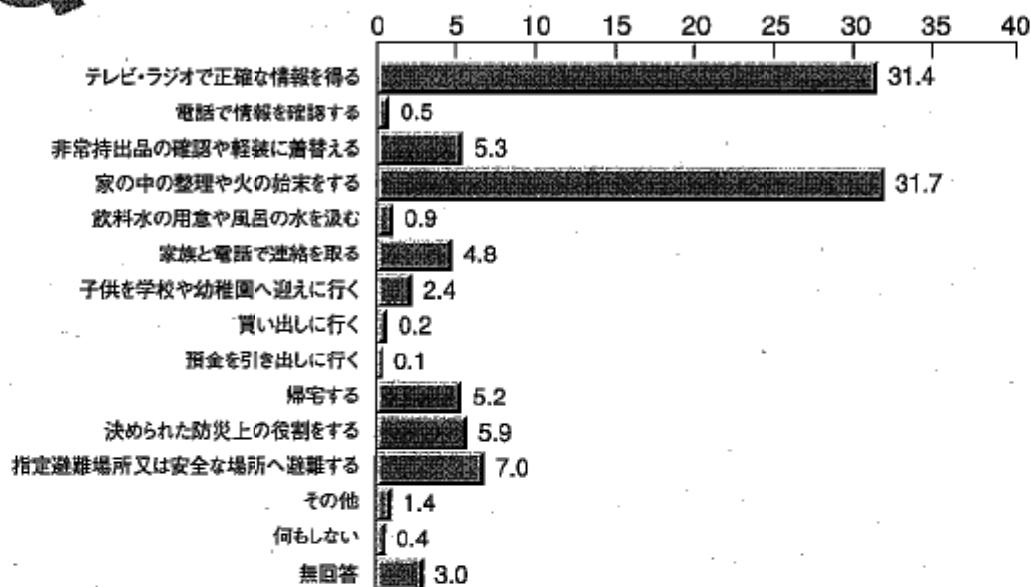
★家族の役割

内 容	名 称	内 容	名 称
ラジオ・テレビで情報を確認		窓ガラスなどにガムテープをはる	
火を消す		出入口を確保する	
ガスの元栓、プロパンガスボンベのバルブをしめる		消火器・バケツの用意	
危険物を安全なところに移す		飲料水を確保	
電気器具のコンセントをぬく		非常持出し品の確認	
棚の上から物をおろす		すぐに買っていない家族への位置があれば書いておく	
家具などを倒れないようにする		子供や老人の世話を	

突然震度6強程度の地震が発生した場合、 まず最初に身の安全、 火の始末を確認してください。



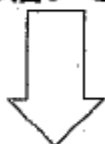
東海地震が突然起こったとき
あなたは何をしますか。



まず最初にする行動として、テレビ・ラジオで正確な情報を得ると回答した人が約3割いますが、正確な情報を得るのは、安全が確保できた次の行動です。

あなたを守る突発地震時の行動

①まず落ち着いて身の安全を



身を守るためには

●建物の中でも家具等の転倒やガラスの飛散、家具の倒壊により、大きな危険があります。

そのため…「家具の固定」

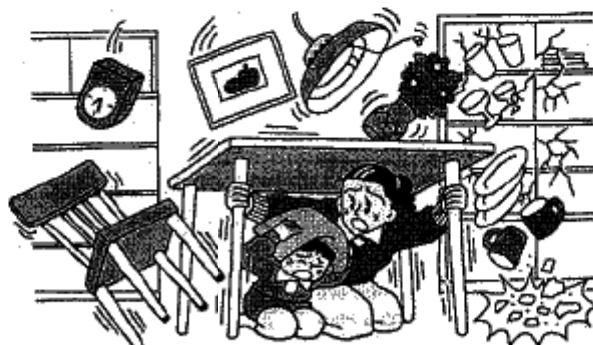
「ガラス飛散防止」

「家屋の耐震診断・補強」

など行っておいってください。

(1)机やテーブルに身をかくす

- 揺れを感じたら、まず丈夫な机やテーブルなどの下に身をかくしましょう。
- 座布団などが身近にあれば、頭部を保護しましょう。



(2)非常脱出口の確保

- 揺れを感じたら、玄関などの扉を開けて非常脱出口を確保しましょう。

(3)あわてて外へ飛び出さな

- 大揺れは1分程度でおさまるので周囲の状況をよく確かめ、あわてて外へ飛び出すことなく落ち着いて行動しましょう。